



江川地区の里山の風景は子どものころの懐かしさを感じさせてくれます

稲作を通じて 自然を体験

江川地区では、水田型市民農園の整備も進めており、最終的には広さ7・8ヘクタールという、全国でも最大級の市民農園を目指しています。

平成20年度には試行的に、オーナー型としての団体をはじめ、地元の小学生や自然保護団体の皆さんらが、約57アールの水田で稲作体験をしました。

環境にも配慮し、農薬はほとんど使わず、昔ながらの手作業での米づくりに挑戦したものです。

田植えは4月27日から5月1日までの5日間で行われ、総勢328人が参加しました。

また8月9日には草取りとホタル観察会が開かれ、子どもたちも大人も稲作体験を通じて自然を満喫しました。

こうして、復田がおおむね完了する平成21年度の開園を目指し、運営方法や栽培方法などを検討するとともに、今後、トイレなどを備えた休憩施設や、駐車場の整備も行っていく計画です。

